

安芸高田市の歴史

安芸高田市域は、古代には安芸国内の高田郡と高宮郡の2郡に分かれていましたが、中世以降には高田郡に統合されました。

中世には郡内の荘園・国衙領の地頭として、東国の武士が各地に入部しました。戦国時代には毛利氏や宍戸氏、高橋氏などの国人領主が割拠しましたが、その中で毛利氏は郡山城を本拠に台頭し、元就の時には中国地方一円に勢力を拡大する戦国大名となりました。

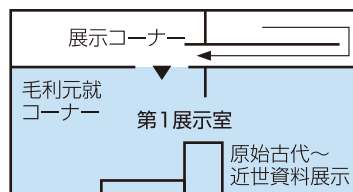
毛利氏の周防・長門移封後、江戸時代の高田郡には最大61ヶ村があり、広島と出雲・石見を結ぶ街道には各地に宿場町や市町がつくられました。

明治時代以降は幾度も統廃合が行われ、昭和48年からは現在の市域である高田郡6町となりました。

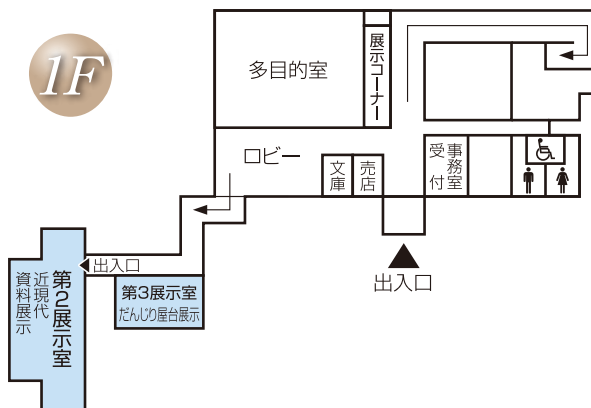
そして、更なる市町村合併の機運が高まり、平成16(2004)年3月1日に6町の合併により、広島県で14番目の市である「安芸高田市」が誕生しました。

館内のご案内

2F



1F



博物館の活動

安芸高田市歴史民俗博物館は、安芸高田市に関する歴史・民俗資料の収集や保存を行っています。また、これらの調査と研究を継続的に進めその成果を展示等に生かしています。

さらに、市の歴史や文化財に関する理解を深めるための講座やイベント等も実施しています。

ご利用案内

- ◆開館時間◆ 午前9時～午後5時
- ◆休館日◆ 火曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土日の場合は開館)
12月29日～1月3日
- ◆入館料◆ 大人 300円(200円)
小・中学生 150円(100円)
< 特別展は別途料金 >
- ◆駐車場◆ 普通車 15台 バス 3台
(無料)
- ◆アクセス◆ **バス** 広島バスセンターから吉田出張所行き(約1時間40分)安芸高田市役所前下車徒歩5分
J R 芸備線向原駅からタクシー15分
自動車 中国道高田インターから15分



【表紙のロゴマークについて】

令和5年(2023)に、毛利元就が家督を相続し、郡山城に入城して500年を迎えることを記念して作成されました。



当館ホームページ



文化財動画紹介
「おうちミュージアム」

安芸高田市歴史民俗博物館

検索

安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278番地の1
TEL/FAX 0826-42-0070

安芸高田市 歴史民俗博物館

500
毛利元就
郡山城入城500周年

常設展示

第1展示室

安芸高田市の原始から近世までの歴史を振り返り、特徴的な資料を展示しています。

特に中世は戦国期を核とし、古文書、社寺への奉納品や出土遺物などを中心に展示しています。また、市内に所在する城跡などの史跡をとおして、毛利氏を中心にめまぐるしく変化した安芸高田の歴史を紹介しています。



郡山城復元模型



県重文 千間塚古墳出土亀形須恵器
7世紀 (個人蔵)



明官地廃寺跡出土文字瓦
8世紀 (広島県教育委員会蔵)



甲立古墳出土家形埴輪 4世紀末

原始
古代



市重文 男山神社獅子頭
元龜2年(1571)



県重文 清神社在銘連子窓断片

県重文 清神社棟札
右: 正中2年(1325)
左: 永禄11年(1568)

中世



市重文 毛利元就画像
江戸時代 (個人蔵)

近代



近世コーナー

近世



川角山神社絵馬 蒸気船図
安政2年(1855)

第3展示室

約350年の伝統をもつ子ども歌舞伎が行われるだんじり屋台を展示しています。



現代

毛利元就コーナー



毛利元就(1497-1571)が、郡山城を居城として一国人領主から戦国大名へと駆け上がった生涯を紹介しています。

第2展示室

安芸高田市の近現代史について、民俗資料を中心に展示紹介しています。



いろいろの間

安芸国高田郡図 正徳6年(1716)